

久屋大通のあり方(南エリア部分)提言の概要

名古屋に根付く 武家文化・ものづくり文化
名古屋城・からくり人形・工作機械・自動車など

武家文化と庶民文化が融合し、多様性と寛容性を育む
名古屋の中心地、久屋大通

サブカルチャーを育む 庶民文化
世界コスプレサミット・大須大道町人祭など

現状・課題

- ・都心部の緑のオープンスペース
- ・沿道に連坦した大型商業施設
- ・休日のイベントの賑わい
- ・平日は閑散
- ・駐車場待ち渋滞列
- ・公園と沿道の高低差

再生コンセプト

『新たな創造が生まれるウォーカブルタウンのコア』 ～多様な人が集まる刺激と居心地～

居心地が良く、感性が刺激されるここにしかない魅力的な場所
多様な人が惹きつけられ、出会いや交流によって、新たなつながりや価値が創造される
それこそがこれからのまちづくり、ウォーカブルタウンの一番重要な要素であり
久屋大通を歩きたくなるまちの拠点（コア）として再生していく。

再生方針

誰もが思い思いに過ごせる
居心地の良い安心・安全な場の創出

ここにしかない時間や
体験の提供

まちを歩いて回りたくなる
環境の形成

整備の方向性

(1) うるおい・憩いを感じられる居心地の良い空間の創出

誰もが、居心地が良いと感じられる場所がある

- 自然や開放的な雰囲気を感じられる空間の創出
- 居心地の良い溜まり空間の創出
- 多様なアクティビティが共存する空間の創出

(2) 多様な人を受け入れる安心・安全な空間の創出

子どもや高齢者、外国人、障害のある人など
皆が公園を楽しめる

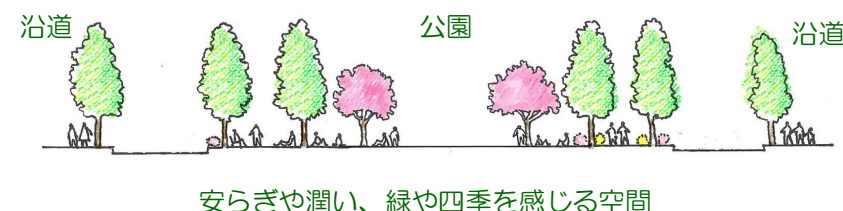
- 多様な人を受け入れる環境の整備
- 防災機能の強化
- 防犯機能の強化

(3) ここでしか体験できない楽しさの提供

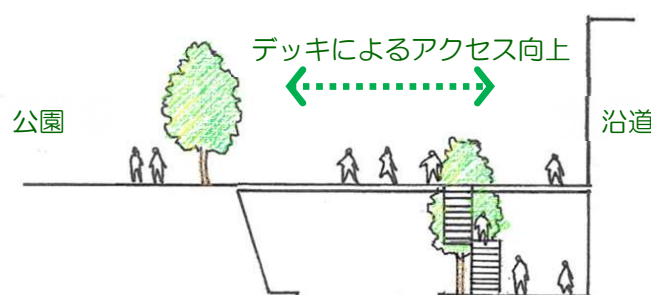
魅力的なイベントと多様な人の交流、
普段使いされる楽しみがある

- イベント機能の充実
- 集客機能の強化
- 日常的なにぎわいの創出

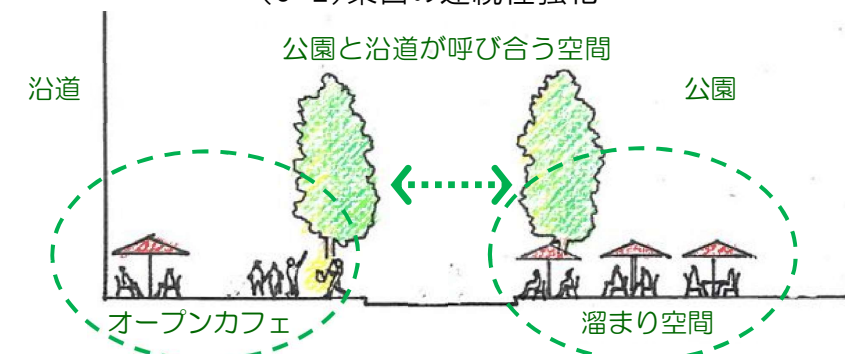
(1) うるおい・憩いを感じられる居心地の良い空間の創出



(5-2) 東西の連続性強化



(5-2) 東西の連続性強化



(4) 魅力的な景観の形成

国内外の人を惹きつける風景がある

- シンボリックな景観の形成
- 沿道と一体となった魅力的な景観の形成
- 建築物等を活かした魅力の向上

(5) 公園・沿道の一体化

(5-1) 南北の連続性強化

公園南北を円滑に移動できる

- 広場の一体化
- 久屋大通庭園フラリエ・大須方面との連携強化

(5-2) 東西の連続性強化

公園と沿道が呼び合う

- 沿道からのアクセス性の向上
- 視覚的な開放性の向上
- 公園と沿道が呼び合う空間づくり

(6) 地上と地下の連続性強化

公園と地下空間との間に人の流れが生まれる

- 地上と地下をつなぐ空間の整備
- 昇降機能の強化

ゾーンごとの具体的な展開方策(主なもの)

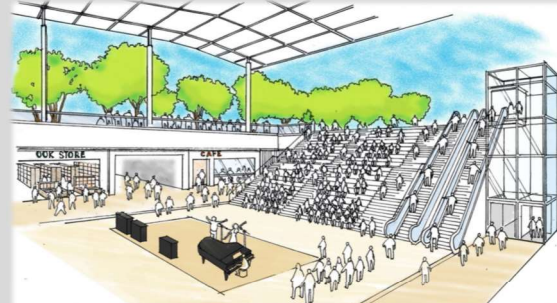
まちのラウンジゾーン

- シンボリックな空間の演出
- 自然の充実と居心地の良い溜まり空間
- 昇降設備の充実



異日常空間へのエントランスゾーン

- 大階段、大屋根等を有するサンクンガーデン
- 沿道ビルと歩行者通路で接続
- ミツコシマエ ヒロバスと愛の広場の一体化



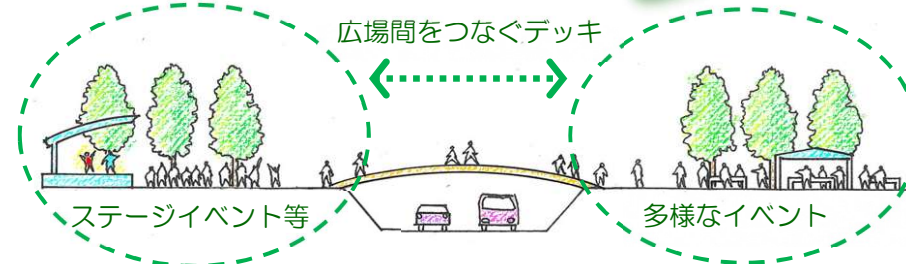
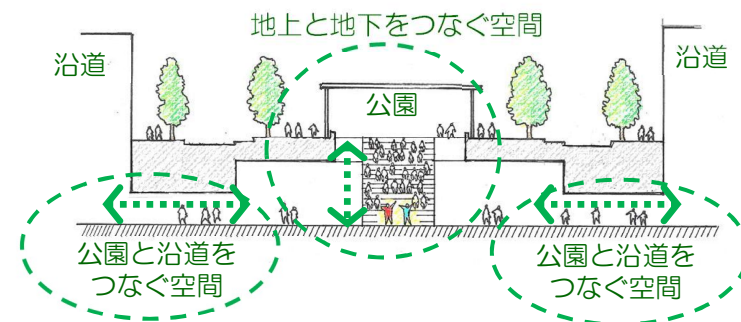
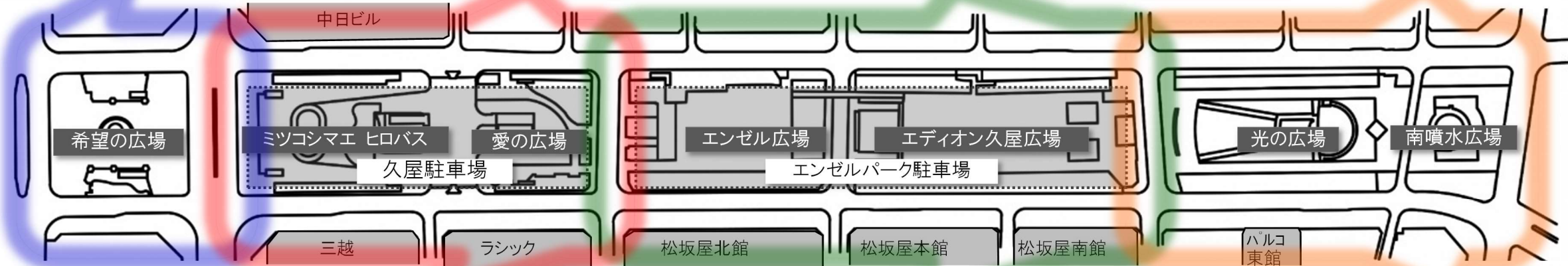
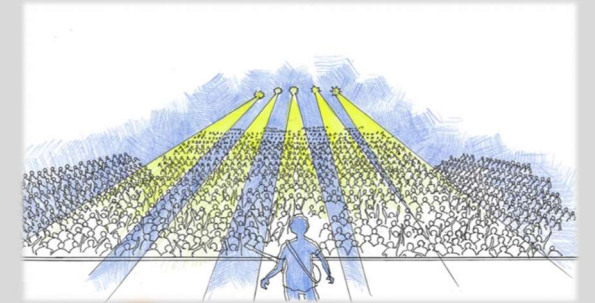
動と静のハイブリッドゾーン

- 広場間のデッキ接続
- 東側沿道と広場をデッキ接続
- 日常的に利用され、時間を過ごせる空間



創造と発信ゾーン

- 多目的に活用可能な集客施設の誘導
- 大須方面とつなぐ接続施設の整備



官民連携手法(地域版 Park-PFI)

- 公園内の収益施設に頼らず、公園と周辺施設等が一体となって賑わいを創出する仕組みを新たに構築
- 連携して整備管理運営を担う母体として事業主体を組成し、公園の整備の一部や沿道施設とのデッキ接続等の一部費用を負担

